

会 議 録

会議名	令和5年度 第9回 小金井市学童保育所運営協議会	
事務局 (担当課)	児童青少年課	
開催日時	令和6年1月23日(火) 19時00分～20時00分	
開催場所	第二庁舎8階801会議室及び一部オンライン会議	
出席者	委員	森永副委員長、堤委員、中山委員、鈴木委員、青木委員、高藤委員、東小川委員、太田委員、金澤委員、神山委員、沢田委員、良知委員、戸田委員
	事務局	野村学童保育係長
欠席者	深草委員長	
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1)利用者アンケートについて アンケート項目の決定、設問7の再確認</p> <p>(2) プロポーザル審査委員会の学識経験者について 学保連からの推薦確認</p> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まえはら学童防犯カメラの設置について ・みどり第3学童の運営について ・予算要求の状況について ・補助員の検証報告 <p>3 閉会</p>	
配布資料	<p>(再送) 【資料5-14】 令和6年度利用者アンケート</p> <p>【資料5-16】 補助員の検証報告</p>	
議事	<p>1 開会 委員長から開会の挨拶、議題の紹介</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 利用者アンケートについて</p> <p>(市) アンケート項目の決定内容はこの設問の再確認になる。内容はこれでよいか。</p> <p>(学) 代表者会議で特に意見はない。</p> <p>(市)</p>	

次にアンケート結果の内容をどのようにプロポーザルで活用していくかにうつる。事業所に対して質問で投げかけることを想定している。それを踏まえてアンケートを用意する。6月に向けてスケジュール通りに準備していく。スケジュールも次回に共有できる形にしていく。

(学)

何のスケジュールであるか、投げかける質問はアンケートの内容か、もしくは意見要望のほうになるか。

(市)

プロポーザルのスケジュールである。投げかける内容はアンケート内容とその中で出た課題についても含めて考えている。協議会で内容を共有したうえでのぞむ予定。

(2) プロポーザル審査委員会の学識経験者について

(市)

確認だが、前回の委員でよいか、新しい委員がいればということだった。前回と同じでよいという方向でよろしいか確認である。

(学)

こちら確認したところ前回の方に続けていただきたいとの意見である。

(市)

学保連の意向を確認できたので、ご本人に委員内諾のお願いしていく。今後お願いしていくスケジュールはまたお知らせしていく。

(3) その他

まえはら学童防犯カメラの設置について(2月末に設置予定)

(市)

まえはら学童の防犯カメラは2月末に設置予定となっている。背景としては、以前まえはら学童保育所で小金井警察の立会いのもとで研修会を開いたところ、犯罪を未然に防ぐために、設置の提案を警察署より受け、令和5年度の予算検討に入り、予算化され今回設置することとなった。場所は学童保育所への入り口に設置する。設置にあたり個人情報保護の観点から安全管理、犯罪関連確定など以外には使用しないものとする。

今後、設置に向けて、学校に面しているため、教育委員会、前原小学校にも設置について調整を図る予定である。

(学)
場所等承知した。

(学)
先んじて、まえはら学童保育所だけになった理由は。

(市)
今後ほかの学童でも設置を検討するが、まえはら学童近隣で何度か警察を呼んだ事象などもあり、指導があった。今後防犯の観点から必要なら設置していく意向であると協議した。

・みどり第3学童の運営について

(市)
春休みに家庭科被服室が普通教室化のため工事に入るということで学童の運営場所を教育委員会や学校と調整している段階。運営場所が決まったらお知らせする。今回は工事の情報をお伝えする段階。

(学)
第3学童の場所の確保は確実なのか。

(市)
現在は教育委員会での調整となっている。配慮いただけるという話はいただいている。

・予算要求の状況について

(市)
市では予算編成が進んでいる。この後、議案・予算要求という概算の説明をする。流れについては10月に予算要求し、財政当局と各部局とやり取りをして1月の中旬に内示がありその後、復活要求、2月に議案となり3月に予算委員会3月8日から15日まで審議されて3月25日に議決される。現在公表される段階ではないが市の中で手続きは進んでいる。備品関係の予算や、システムの導入なども検討中であるがスケジュールを考えて検討させていただく。

たけとんぼの玄関扉の修繕の依頼があるが建物の構造上の問題があり、すぐには難しいとなっている。

(学)
すぐに対応が無理であっても不便であるので、いつ修繕がかなう

のか。

(市)

事故につながるようになると修繕が必要となる。現状は不便であるが使える段階なのですぐ修繕は厳しい状況となっている。

(学)

毎回ではあるが、今後も要望はさせていただくと思う。

(市)

承知した。

・ 補助員の検証報告

(市)

補助員の受け入れ後の検証についての報告をする。今回夏休みの間ひと月ではあったが、さわらび学童保育所で補助員として、学生が従事した。事前準備として資料（国、市、学童）マニュアルなどを配りレクチャー、諸注意、お子さんの状況の共有などを行った。担当は補助的な業務で、出欠管理、保護者との対応連絡などにはかかわっていない。初日と2日目は指導員が指導しながら教え、それ以降は常に指導員がそばにいる状態で保育の見守りにあたってもらった。資格はないが学生なので注意することは伝えるが、遠くない未来の人材候補、将来につながる人材ということを踏まえ子どもたちと過ごすことの楽しさを経験してもらおうようにした。子どもたちも年が近いこともありよい関係であった。メリットとして無資格者であっても一人職員が増えることで目が増えることで、安定的な保育につながる、職員も安定すると父母への対応など対外業務、通常の職員の業務にもよい効果があった。短期間であったので長時間の対応では違ってくることになるだろうと思う。今後その機会があればまた検証してより安定した運営に生かしていきたい。

(市)

おおむね良い結果であったが、市としては長期的な勤務で資格を取得して、職員となっていくことを想定している、補助員の内容も理解いただいて、予算も提案できる予定であり、長期の雇用ができればと思う。

(学)

学生のアルバイトなどは短期だと可能だが、今後補助員を入れる際の勤務時間など、何時間以上の勤務とか基準などはあるのか。

(市)

明確な基準などはないが、想定では研修などを経て資格を取っていき指導員になれるように育成していくことを視野に入れている。

資格がないが他の職員と同等な勤務時間をと考えている。

学生というより、この仕事を将来的に担っていく人をお願いしたい。できるだけフルタイムをお願いしたいのだが人が集まらない場合は時間を融通し働いていただくこともある。

(学)

学生の1名の方の応募はどのような経緯があったのか。

(市)

今回はプロポーザルを実施した委託所から先行導入し、委託所経由で派遣会社の紹介と聞いている。

(学)

継続的な勤務を想定していることは理解しているが、夏休みなど職員の休みなどを想定すると、スポットの補助員などもありがたいという声も大切だと感じている。

3 閉会

次回日程 (予定)

令和6年2月27日(火) 19時～本町暫定庁舎第1会議室 (一部オンライン)

令和5年度第9回小金井市学童保育運営協議会を閉会する。